

## 学位論文審査結果の要旨

博士課程 ① 甲 乙	第 号	氏 名	杉田 千泰
審 査 委 員		主 査 氏 名	丸山真杉
		副 査 氏 名	中村都英
		副 査 氏 名	下田 和司
<p>【論文題名】</p> <p>Elevated plasma factor VIII enhances venous thrombus formation in rabbits: Contribution of factor XI, von Willebrand factor and tissue factor (Thrombosis and Haemostasis, <i>in press</i>)</p> <p>血液凝固 VIII 因子の血中濃度の増加は家兔静脈血栓形成を促進させる： 血液凝固 XI 因子、von Willebrand 因子および組織因子の関与</p> <p>【要 旨】</p> <p>血液凝固 VIII 因子 (FVIII) は血液凝固に必須の因子で、血中では von Willebrand 因子 (VWF) と複合体を形成して存在する。FVIII 活性は、健常人において 50%~300% と個人差が大きく、その重度の低下は血友病 A として知られている。近年、血中 FVIII 活性が静脈血栓塞栓症のリスクと関連することが報告されているが、その機序の詳細についてはまだ明らかにされていない。本研究では、家兔の静脈血栓症モデルを作製し、血栓の形成および成長における FVIII の役割を検討した。その結果、血中 FVIII 濃度の増加は、静脈血栓の形成を促進し、FXI を介したトロンビン産生と VWF による FVIII の動員が静脈血栓の成長に寄与することが示唆された。以上の結果は、静脈血栓の形成機序における FVIII の重要性を明らかにし、今後の予防・治療戦略において重要な知見を与えたと考えられ、学位論文に値すると判断した。</p>			